

PHOTO フォト部門

生命の尊さ、大切さを感じさせる作品を募集します。

人間、動物、自然など被写体は自由です。

※デジタルカメラで撮影したもの、デジタルプリントも応募可能です。
 ※500万画素以上であれば携帯電話等での撮影も可能です。
 ※画像処理等の加工、合成及び組み写真は不可。

- 作品のプリントサイズは、キャビネ判(2L)とします。
- 応募作品は、2016年6月1日以降に撮影したものに限りです。
- 応募は1人3点までに限りです。

賞

厚生労働大臣賞(1点)	賞金10万円、賞状他
日本医師会賞(1点)	賞金10万円、賞状他
読売新聞社賞(1点)	賞金10万円、賞状他
審査員特別賞(1点)	賞金5万円、賞状他
入選(若干名)	賞金3万円、賞状他

応募方法

- ◆ウェブからの応募も可能です。詳細は公式ホームページ(<http://inochi-photo-essay.com>)をご覧ください。
- ◆エッセー部門は、直筆の場合、鉛筆(Bまたは2B)、ボールペン、万年筆のいずれかを使い、濃く書いてください。
- ◆郵送の場合は、作品に下記の応募用紙をつけて送付してください。

■応募作品は自作、フォト部門は本人撮影の未発表作品に限りです。盗作、二重応募、類似、事実ではない創作作品の応募は固くお断りいたします。応募作品について、盗作等による著作権侵害の争いが生じて、主催者は責任を負いません。

※すでに書籍化したものや、公の刊行物に掲載されたものは応募不可とします。
 ※違反が確認された際は、受賞決定後も賞の取り消しとなる可能性があります。
 ※ご記入いただいた個人情報、受賞した場合の連絡、作品に関する問い合わせ、取材、本コンテストに関するご案内のみに使用し、それ以外の目的での使用や、第三者に譲渡することはありません。

応募規定

ESSAY エッセー(作文)部門

病気やけがをした時の思い出、介護や生命の誕生にまつわる話、医師や看護師、患者との交流など、医療や介護に関するエピソード、お世話になった医師や看護師ら宛てに送ったという想定「感謝の手紙」などを募集します。

※小学生の部では、ペットや動物の命にまつわるエピソードも応募可能です。

【一般の部・中高生の部】2,000字(原稿用紙1~5枚)以内。

【小学生の部】1,200字(原稿用紙1~3枚)以内。

※パソコン、ワープロ使用の場合、1ページ400字(20字×20行)とする。

賞

一般の部	厚生労働大臣賞(1点)	賞金30万円、賞状他
	日本医師会賞(1点)	賞金30万円、賞状他
	読売新聞社賞(1点)	賞金30万円、賞状他
	審査員特別賞(1点)	賞金10万円、賞状他
入選(若干名)	賞金3万円、賞状他	

中高生の部	最優秀賞(1点)	図書カード3万円分、賞状他
	優秀賞(若干名)	図書カード5,000円分、賞状他

小学生の部	最優秀賞(1点)	図書カード1万円分、賞状他
	優秀賞(若干名)	図書カード5,000円分、賞状他

作品送付先

〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1
 読売新聞東京本社 事業開発部
 「生命を見つめるフォト&エッセー」係

応募締め切り
 2019年10月3日(木)
 必着

応募用紙

※氏名は実名のみ受付となります。

応募部門				題名			
フォト部門		エッセー部門 一般の部		エッセー部門 中高生の部		エッセー部門 小学生の部	
氏名 ふりがな				年齢 歳		TEL	
				(年 月 日生)		() -	
性別				男 女		FAX	
						() -	
住所				MAIL			
都 道 府 県							
職業(学校名・学年)				フォトのみ 撮影年月日		撮影場所	
				年 月 日			
撮影機材							
確認の上、チェック <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください				<input type="checkbox"/> (フォト部門)被写体の肖像権やプライバシーの侵害、事実関係に問題ありません <input type="checkbox"/> この作品は他のコンクール、コンテストなどに応募したものではありません			
本コンテストを知ったきっかけ							
(1) 読売新聞を見て		(2) 病院、医療機関で見て		(3) 学校(小・中・高・大・専門)		(4) 写真店・カメラ屋で見て	
(5) 読売新聞ホームページを見て		(6) このチラシ		(7) 医療関係者から聞いて		(8) 友人・知人から聞いて	
(9) 雑誌や本を見て(具体的に:)	
(10) 公募サイトで見て(具体的に:)	
(11) ヨミドクターを見て		(12) 日本医師会ホームページを見て		(13) 日本医師会からのお知らせを見て			
(14) その他(具体的に:)	

入賞作品についての著作権
 フォト部門は撮影者に帰属します。エッセー部門は主催者に帰属します。
 両部門とも、入賞作品について、読売新聞紙上及びその他広報物に使用する権利は、主催者が有します。

ハキリトリ